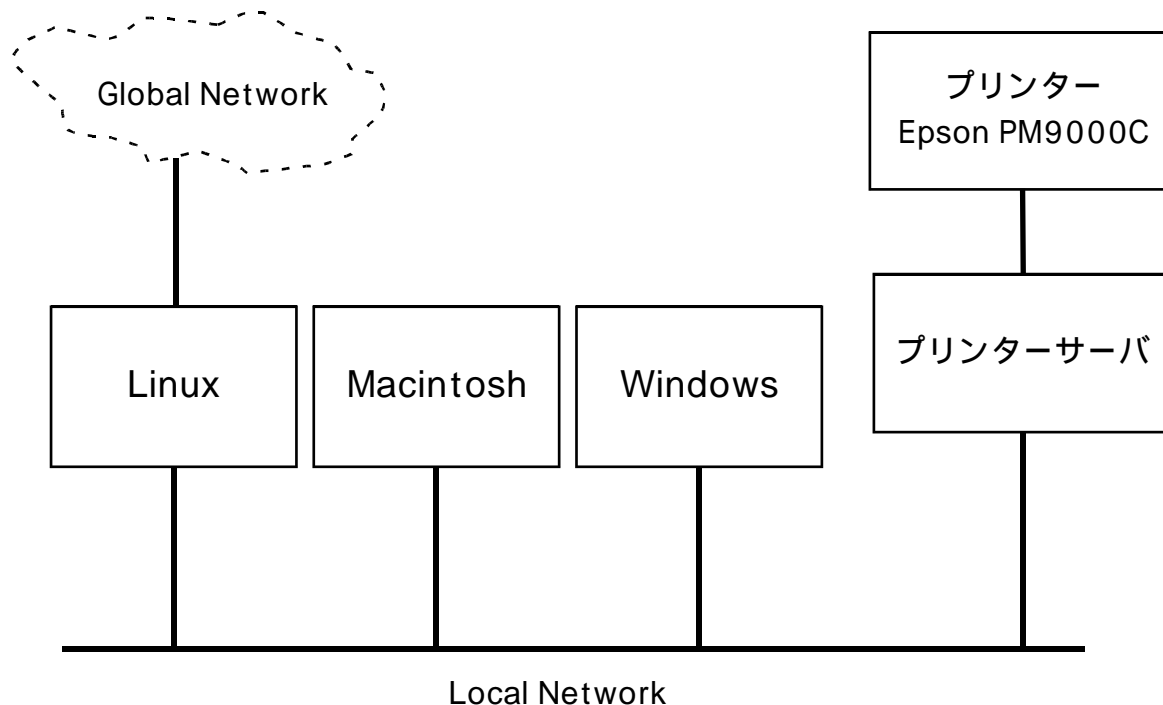


ポスタープリンターの使い方 (Macintosh version)

操作手順のアウトライン

1. プリンター、プリンターサーバの準備（電源投入、印刷用紙のセット）.....スタッフが行います
2. コンピュータの起動
3. コンピュータでのプリンターの選択（セレクト）
4. 書類設定(Adobe Illustrator のみ)
5. 用紙設定
6. 印刷
7. 印刷後の用紙のカット
8. 後片付け

システム構成

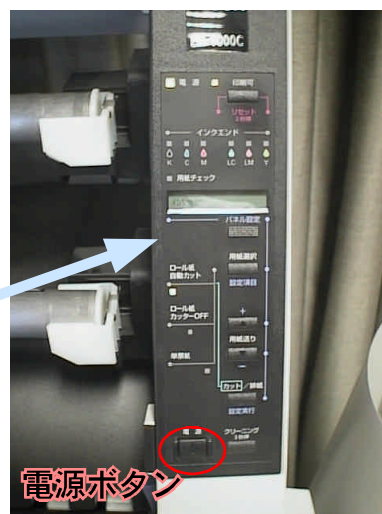
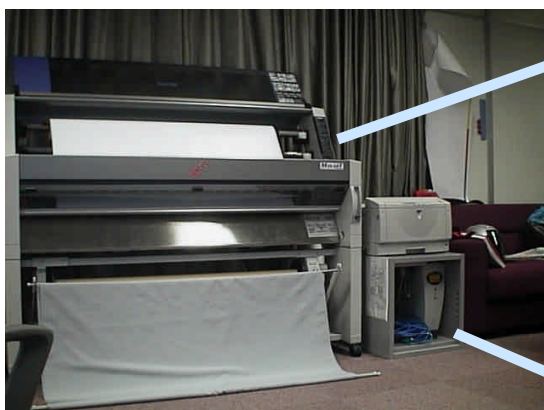


1. プリンター、プリンターサーバの準備（電源投入、ロール紙のセット）

この手順 1 に関しては、用紙の入れ替え等の作業があるため、スタッフが行います。

どの用紙を利用するか(マットロール/半光沢)(A0/B0)を決め、スタッフに伝えて下さい。

a) プリンター、プリンターサーバの電源を入れる。プリンターサーバが利用可能な状態になるまでには、しばらく時間がかかります。



プリンターのパネル

プリンターサーバの電源スイッチは本体の裏側(電源ケーブルの上辺り)にあります。わかりにくいのでスタッフに聞いてください。



プリンターサーバ

b) ロール紙のセット

どの用紙を利用するか(マットロール/半光沢)(A0/B0)を決め、スタッフに伝えて下さい。スタッフがセットします。
各用紙の料金体系は別紙を参照して下さい。

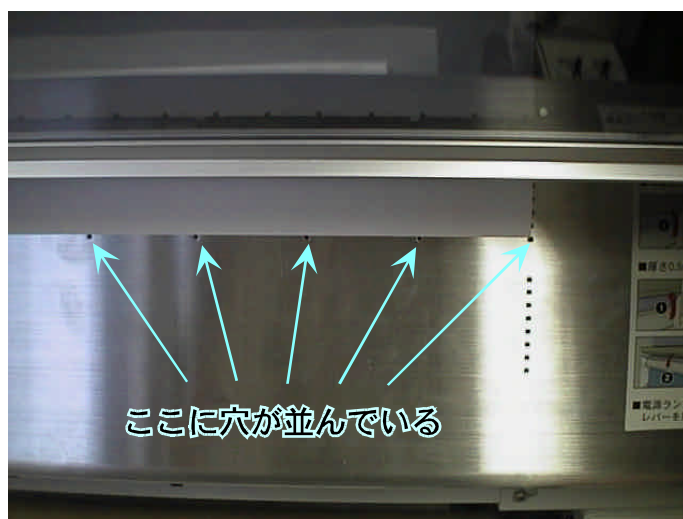


紙押え解除

i) プリンター本体右側の支柱にある紙押えを解除し、ロール紙を差し込みます



紙を差し込む



ここに穴が並んでいる

ii) 差し込んだ紙の端をプレートの穴に合わせて、紙押えを固定します。

紙押え固定



iii) プリンターサーバの表示が「使用可能」、プリンターのパネルの表示が「印刷可能」になっていることを確認する。プリンター、プリンターサーバ側の準備は以上。

2. コンピュータの起動

Macintosh の電源を入れる。

3. コンピュータでのプリンターの選択 (セレクト)

何のアプリケーションを使うにせよ、印刷に用いるプリンターを選択する必要があります。

- i) アップルメニューの中から「セレクト」を開きます



- ii) セレクトパネルの「AdobePS」をクリックし、「Fiery LX_PM9000C_Direct」を選びます。プリンター側の準備ができていない時には、この項目が現れません。準備ができていない場合には、スタッフに連絡して下さい。
パネル左上のクローズボックスをクリックしてパネルを閉じます。これでデフォルトのプリンターがポスタープリンターになります。

補足1) プリンター、プリンターサーバの準備ができていないと、セレクト内に Fiery LX_PM9000C_Direct が現れません。プリンター側の準備ができていないにも関わらず、Fiery ... が現れていない時には、スタッフに連絡して下さい。

補足2) Fiery LX_PM9000C_Direct と表示されているが、右図赤い丸で示しているように、ちいさなプリンターの絵が白い時にはプリンタが正しく設定されていません。この場合には PPD ファイルを選択する必要があります。Fiery LX_PM9000C_Direct を選択している状態で「再設定」ボタンをクリックし、下図の PPD 選択パネルを出します。「自動選択」をクリックすると、プリンターと交信して、自動的に PPD ファイルを選択します。



PPDファイルが選ばれていない



PPD ファイルが選択されていない時、自動選択をクリック



PPD ファイルが Fiery ... になったら、OKをクリック



PPDファイルが正しく選ばれた

4. 書類設定(Adobe Illustrator のみ)

Adobe Illustrator には、書類設定という設定項目があります。この書類設定を適切に設定しておかないと正しく印刷されません。



ファイルメニューから「書類設定」をクリックすると左図のようなパネルが開きます。アートボードの「用紙設定を利用」にチェックを付けてください。これによって書類のサイズと印刷設定のサイズが一致ようになります。

5. 用紙設定

作成されたファイルを開き、用紙の設定を行います。

i) 印刷するファイルを開き、ファイルメニューの「用紙設定」を選びます。



用紙設定のパネルで、まず「プリンタ」をPoster Printer に選びます。次に「用紙」を印刷したいサイズに選びます。OKボタンを押すとその用紙サイズでの印刷可能領域が示されます。(印刷可能領域の表示はアプリケーションによって異なります。)

印刷対象が、印刷可能領域にきちんと納まるように修正して下さい。(Acrobat などのいくつかのアプリケーションでは、用紙にきちんと納まるようにサイズを合わせる印刷オプションがあります。)

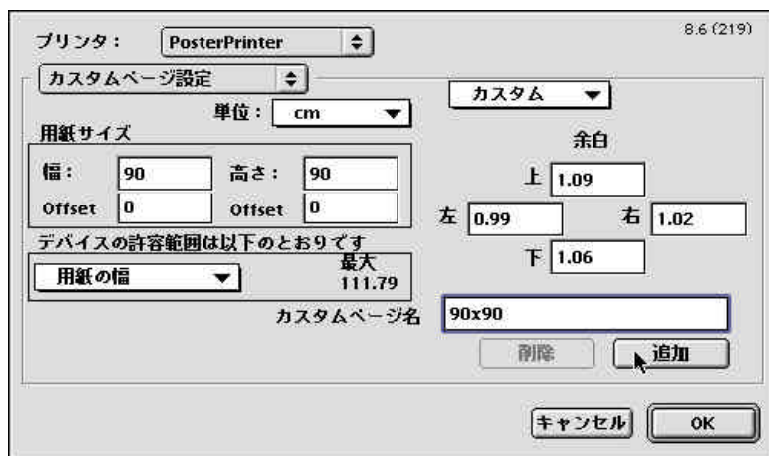
印刷したいサイズが特殊な場合

印刷したいサイズが A0 や B0 のように決まったサイズでない場合には、次のような手順でカスタマイズします。

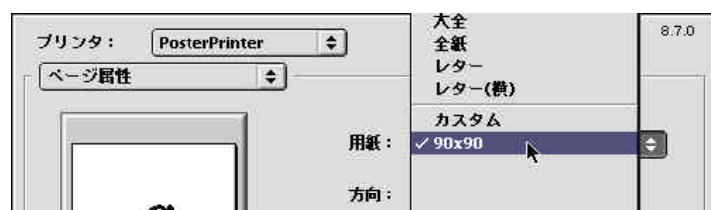
- i) 用紙設定のパネルで、ポップアップメニューの「カスタムページ設定」を選びます。



- ii) 下記のようなカスタムページ設定のためのパネルが現れます。「幅」や「高さ」に望むサイズを入力した後、適当な「カスタムページ名」を付けて「追加」ボタンを押します。下図の例では、90cm x 90cm のカスタムページを「90x90」という名前前で保存しています。(注意！ カスタムページの幅は 111.76cm 以下としてください。)



- iii) 以上で、用紙設定のパネルの「用紙」の中からカスタマイズされたページ設定を選ぶことができるようになります。用紙設定パネルのポップアップメニューを開き、「ページ属性」に合わせ、「用紙」のリストの中から保存したカスタムページを選び、OKをクリックします。(下の例では、90x90 の用紙を選んでいきます。)



5. 印刷する

印刷パネルを開き印刷を開始します。印刷が完了するには、かなりの時間がかかります。(30分～1時間)

アプリケーションによっては、文字が正しく印刷されなかったり、位置がずれてしまうことがあります。印刷パネルから、ファイルで保存し、Acrobat Distiller を使って PDF ファイルを作成することによって、印刷されるイメージを確認することができます。Acrobat Distiller については別に説明します。

Illustrator による印刷を行う時の注意

印刷パネルのポップアップメニューで「Adobe Illustrator 8.0.1」を選んで「フォントをダウンロードする」にチェックを付けて下さい。さもないと違うフォントで印刷されることがあります。



途中で印刷を中止するには



i) ディスプレイ上の PosterPrinter と書かれたアイコンをダブルクリックして、プリンターパネルを表示します。

ii) プリンターパネルで印刷ジョブを選択し、ゴミ箱のボタンをクリックして、コンピュータ側の印刷ジョブを消します。



ジョブ取り消しボタン

iii) プリンターサーバの正面パネルに「ジョブ取り消し」と表示されているところのボタンを押して、プリンターサーバに送られた印刷ジョブを消去します。



リセットボタン
(印刷可ボタン)

iv) プリンターの操作パネルにある「印刷可」ボタンを3秒以上押し続けてリセットします。

6. 印刷後の用紙のカット

印刷が完了したら、用紙をカットします。プリンターのはさみの印の位置でカットされますから、プリンターの操作パネルにある用紙送りボタン(+, -)を押して位置を合わせた後に、カットボタンを押して下さい。よく分からない場合はスタッフに聞いて下さい。



7. あと片付け

印刷が完了したら、コンピュータ側のデータファイルを削除してください。プリンターおよびプリンターサーバの電源を消して、ロール紙を巻取り片付けて下さい。

付録A Acrobat Distillerの使い方

Acrobat Distiller は Postscript ファイルから PDF ファイルを作成するためのアプリケーションです。経験的には Acrobat Distiller で作成された PDF ファイルが正しく表示されれば、ポスタープリンターでの印刷もうまくいくようです。

i) プリントパネルからファイル保存する

通常の印刷手順に従ってプリントパネルを出した後に、出力先を「ファイル」に選び保存します。

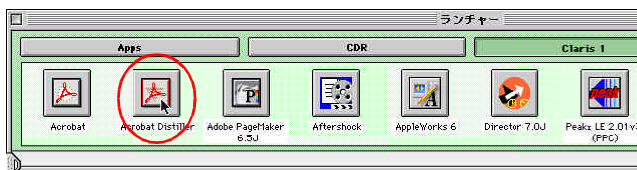
保存したファイルは Postscript ファイルです。このファイルを元に、以下の手順で PDF ファイルを作成します。



保存された印刷ファイル

ii) Acrobat Distiller を起動する

ランチャーの中から Acrobat Distiller のアイコンをクリックして、Distiller を起動します。



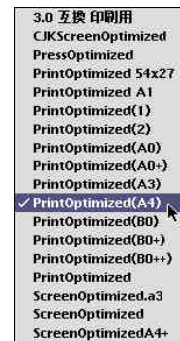
ランチャー



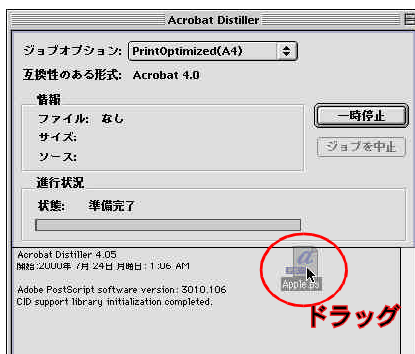
Acrobat Distiller ウィンドウ

iii) Acrobat Distiller のウィンドウの「ジョブオプション」を選択する

ジョブオプションから、「PrintOptimized(XX)」を選択します。PrintOptimizedの後に数種類のサイズが書かれていますが、i) のプリントパネルで保存する際に用いたサイズより大きなものを選択して下さい。



iv) Acrobat Distiller で PDF ファイルを作成する



プリントパネルで保存した Postscript ファイルを、Acrobat Distiller ウィンドウ上にドラッグすると自動的に PDF ファイルの作成を開始します。PDF の作成に成功すると下図のようなファイルアイコンが作成されます。



作成されたPDF ファイル

v) PDF ファイルを開く。(必要に応じてトリミングする。)

作成された PDF ファイルをダブルクリックします。Acrobat が開き、PDF ファイルが表示されます。正しく表示されているか確認して下さい。

うまく表示されていたら、Acrobat のファイルメニューから「用紙設定」を行った後に「プリント」で印刷しましょう。この際プリントパネル中のポップアップメニューを「Acrobat 4.0」に選んで「用紙サイズに合わせる」にチェックを付けると、印刷時に PDF ファイルサイズを実際の印刷用紙のサイズに合わせてくれます。



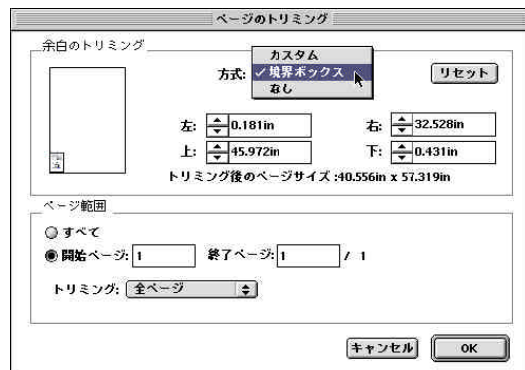
Acrobat Reader のプリントパネル
用紙サイズに合わせるにチェック

PDF ファイルのトリミングについて

作成した PDF ファイルに余分な余白がある場合 (Postscript のサイズより、PDF 作成時に用いたサイズが大きかった場合) には、PDF ファイルをトリミングする必要があります。トリミングするには、ウインドウの左側に配置されているトリミングツールを利用するか、或いはメニューの「文書」「ページのトリミング」をクリックしてあらわれるウインドウを利用します。

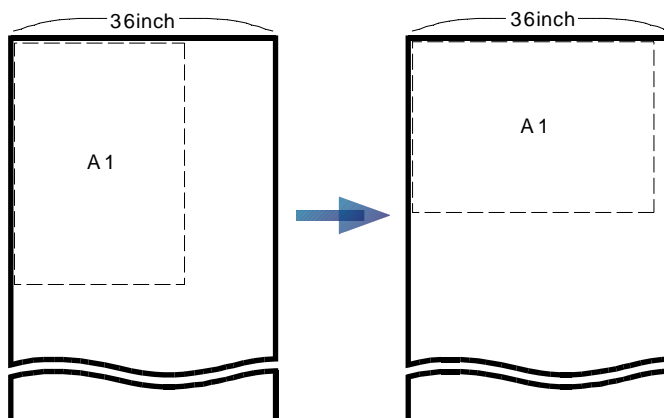


ページのトリミングウインドウを使う場合には、「方式」を「境界ボックス」に設定すると便利です。自動的に境界を判断して、画像のトリミングを行います。



付録B 用紙設定についての補足1(無駄の少ない印刷設定 定型用紙の場合)

印刷原稿の長軸がロール紙の幅(36inch or 44inch)より短い場合は、横向きに印刷した方が紙の節約になります。横向きに印刷するには以下のような設定を行います。



ここでは、A1 サイズ(59.4cm x 84.1cm)の印刷を例にとって説明しましょう。上図のようにA1であれば、A0ノビの用紙(幅36inch = 約91cm)に横向きで印刷するように設定すると良いことがわかります。

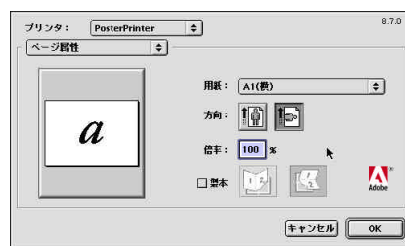
さて A1 の印刷原稿として次の二つのケースが考えられます。

1. A1 portrait 原稿
2. A1 landscape 原稿

どちらの場合も用紙設定パネルで、「用紙」を「A1(横)」に選びます。そのうえで、下図のように「方向」を選びます。



1. A1 portrait 原稿の場合

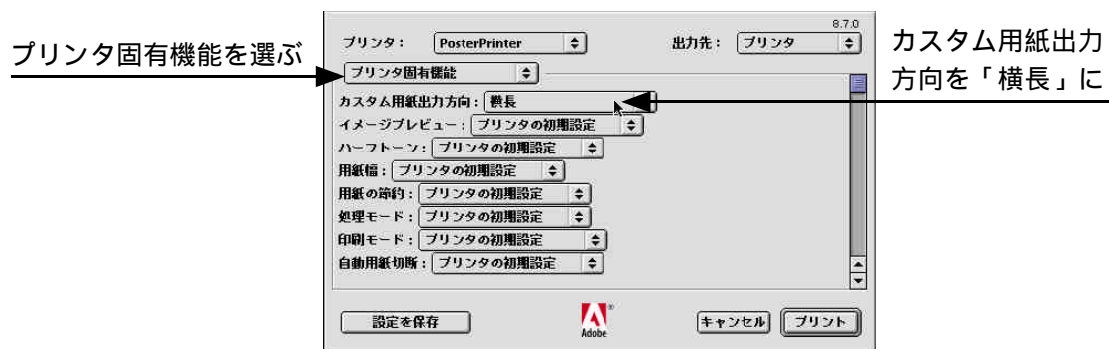


2. A1 landscape 原稿の場合

以上の設定で、A1サイズの原稿を横向きに印刷することができるようになります。(B サイズ原稿の場合も同様です。)

付録B 用紙設定についての補足2(無駄の少ない印刷設定 カスタム用紙の場合)

定型用紙の場合と手順が異なるのは、カスタム用紙設定のパネルにおいて、印刷方向を指定するオプションがないためです。定型用紙の場合には、プリンターの設定の中に横向き印刷用の用紙サイズ(例えば、「A1(横)」)があらかじめ用意されています。



上記のように印刷パネルの中にある、「プリンタ固有機能」を選択した後に「カスタム用紙出力方向」を「横長」に選びます。これで、横向きの印刷が可能になります。